消 防 本 部消 防 署

鈴鹿市火災出動規程の一部を改正する訓令を次のように定める。

令和7年10月27日

火災

出動

建物火災

鈴鹿市消防長 西澤俊一郎

火災 一般火 火災報告取扱要領(平

成6年4月21日付け消

防災第100号) に定める

鈴鹿市火災出動規程の一部を改正する訓令

鈴鹿市火災出動規程(平成20年鈴鹿市消防本部訓令第2号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規程を同表の改正後欄に掲げる規程に下線で示すように 改める。

<b>攻める。</b>			
改正後	改 正 前		
(出動単位)	(出動単位)		
第2条 略	第2条 略		
2 略	2 略		
3 署長が不在となる場合は、 <u>鈴鹿市指揮隊業</u>	3 署長が不在となる場合は、統括指揮課長又		
<u>務規程第2条第2項に定める者(以下「指揮</u> <u>は指揮隊長</u> が、署長に代わって前項の規定			
<u>隊」という。)</u> が、署長に代わって前項の規 よる措置を担うことができる。			
定による措置を担うことができる。			
(出動種別)	(出動種別)		
第3条 出動種別は、次の表に掲げるとおりと	第3条 出動種別は、次の表に掲げるとおりと		
する。	する。		
出動種別	出動 <u>出動すべき事案内容</u> 種別		

出動

災

					L /// 45 PM
					火災種別による火災
	中高層火災			中層建	地上3階又は4階の建
				物火災	物火災
	車両火災			高層建	地上4階のうち不特定
				物火災	多数人を収容するなど
					特殊なもの及び5階以
					上の建物火災
	林野火災			危険物	危険物施設、少量危険
				施設火	物貯蔵取扱所、指定可
				<u>災</u>	燃物貯蔵取扱所、高圧
					ガス関係施設等におい
					て発生した火災
	船舶火災			危険物	移動タンク貯蔵所、高
				車両火	圧ガス・毒物・劇物・
				<u>災</u>	指定可燃物等の危険物
					を積載した車両火災
	航空機火災				
	その他火災				
警戒占	出動		警戒	地震、風	風水害等自然災害のおそ
			出動	れのある	る場合又は危険物等の漏
				れ、飛背	数等の通報、火災とまぎ
				らわしい	・通報又は発見により、
				確認する	る必要がある事案
			非常	火災通幸	最装置により直接119番着 おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお
			通報	信があっ	- った事案
			出動		
			自然	地震、原	風水害等自然災害が発生
			災害	した事業	
			出動		
		1	1 1274	1	

調査出動	
その他出動	

(出動規模)

により出動するものとする。

	<u> </u>	
出動	内容	出動
区分		単位
略	略	略
第 2	火災等の規模及び類焼等	概ね
出動	の状況により、署長 <u>又は</u>	7 単
	指揮隊が必要と認めると	位
	き。	
略	略	略

2 略

(現場指揮)

第6条 消防長、署長、指揮隊(以下「指揮者」 第6条 消防長、署長、統括指揮課長、指揮隊 という。)は、火災等の現場に指揮本部を設 置し、現場統括を行うものとする。

2 • 3 略

調査	火災等の事後確認、調査等必要
出動	がある事案
その	上欄に掲げるもの以外の出動
他出	
動	

(出動規模)

第4条 出動等の規模は、次の表に掲げる区分 第4条 出動等の規模は、次の表に掲げる区分 により出動するものとする。

	<u> </u>	
出動	内容	出動
区分	1.174	単位
略	略	略
第 2	火災等の規模及び類焼等	概ね
出動	の状況により、署長 <u>、統</u>	7 単
	括指揮課長又は指揮隊長	位
	が必要と認めるとき。	
略	略	略

2 略

(現場指揮)

長(以下「指揮者」という。)は、火災等の 現場に指揮本部を設置し、現場統括を行うも のとする。

2 · 3 略

附則

この規則は、令和7年11月5日から施行する。